

# 「藤沢周平・城山三郎・吉村昭」

～1927年生まれの作家たちの文学と高い志～

「われわれの世代には、権威とか権力的なものはもうこりこりという気持ちがあるでしょう。藤沢さんにも、そういう部分がありましたね」と吉村昭は、城山三郎との対談で語っています。1927年生まれの作家たち、藤沢、城山、吉村は、戦前・戦中における人と社会のあり方への猛省からはじめた生粋の戦後派作家でした。垂直的で残酷な人間関係を厭い、水平的で豊かな人間関係を求めた作家たちの夢と実践から、戦後が危うくなった今こそわたしたちは多くを学びたいと思います。

**日 時 : 平成28年6月3日(金)**

13時30分～15時30分(受付:13時より)

**場 所 : 所沢まちづくりセンター中央公民館 ホール**

所沢市元町27番5号 (電話番号 2926-9355)

**講 師 : 早稲田大学文学部 大学院教授 高橋 敏夫先生**



.....  
文芸評論家、学生時代から類まれな文芸評論で注目され、その後も社会事象や映画、マンガ、文芸、音楽、演劇など幅広いジャンルを素材に鋭い現代評論を展開する。学部での講義は、学生アンケートで「早稲田で一番面白い授業」に選ばれた。  
カルチャーセンター、公民館等での講演は年間100回近い。  
著書:「藤沢周平—負を生きる物語」「藤沢周平と山本周五郎—時代小説大論議(佐高信との対談)」「井上ひさし—希望としての笑い」「時代小説はゆく! なかまの再発見」他多数  
.....

**参加費 : 無 料** 事前の参加申込みは不要、直接会場にお越しください。

**主 催 : 所沢まちづくりセンター中央公民館**

**協 力 : サークル「漆の実」(文学愛好者による中央公民館登録団体)**

藤沢周平 (1927年12月～1997年1月) 山形県鶴岡市出身、山形師範学校卒業

1973年「暗殺の年輪」で直木賞

1986年「白き瓶」で吉川英治文学賞

主な作品:「用心棒日月抄」「海鳴り」「風の果て」「蝉しぐれ」「三屋清左衛門残日録」

城山三郎 (1927年8月～2007年3月) 名古屋市出身、一橋大学卒業

1959年「総会屋錦城」で直木賞

1975年「落日燃ゆ」で吉川英治文学賞

主な作品:「大義の末」「辛酸(足尾鉍毒事件)」「小説日本銀行」「価格破壊」「雄気堂々」

吉村 昭 (1927年5月～2006年7月) 東京都荒川区出身、学習院大学中退

1979年「ふおんしーぼるとの娘」で吉川英治文学賞

1994年「天狗争乱」で大佛次郎賞

主な作品:「戦艦武蔵」「三陸海岸大津波」「ポーツマスの旗」「破獄」「桜田門外ノ変」